

会 議 録

会議名	平成26年度 第3回印西市子ども・子育て会議
開催日時	平成26年12月2日（火）午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	印西市役所 会議棟204会議室
出席委員	西村 信会長、古賀 知世委員、賀川 久臣治委員、古賀 一人委員、岩井 基委員、 小谷 博子委員、小島 喜美代委員、前田 陽子委員、佐藤 美智代委員、服部 光子委員 計10名
欠席委員	梅元 妙子委員 計1名
出席職員等	[事務局] 保育課 伊藤 敏一、小作 公哉、泉田 隆之、杉森 俊彦、黒田 学 [関係課] 子育て支援課 岩井 太一、田久保 正樹 学務課 井上 愛一郎、寺島 光浩、海老原 裕之 [コンサル] 株式会社 まち研 研究員 浜田 守、本間 洋美
傍聴者	2名
会議次第 議 題	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 協 議 等 （1）印西市子ども・子育て支援事業計画（素案）について 【資料1】 （2）そ の 他 4. そ の 他 5. 閉 会
配布資料	・平成26年度 第3回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・【資料1】印西市子ども・子育て支援事業計画（素案） ・【追加資料1】今後のスケジュール

1 開 会

2 会長あいさつ

西村会長からのあいさつ

3 協議等

(1) 印西市子ども・子育て支援事業計画（素案）について

○事務局より説明

- ・ 前回資料から文言等について変更した部分を中心に説明。（資料中の修正部分は、赤字で表記）
- ・ 本制度の財源となる消費税増税については、実施時期が延期されるが、制度については平成27年4月より始まることを説明。

○質疑

【小谷委員】 P10の教育・保育の量の見込みですが、1号（幼稚園）の人数が年々増加しています。P9の利用状況をみると、定員割れをしている幼稚園もありますが、増加していくという見込みで大丈夫でしょうか。また、市立の大森幼稚園と瀬戸幼稚園は、4・5歳児でこの定員ということでしょうか。

【事務局】 未就学児数が増加傾向にあることから、量の見込みも増加することを見込んでいます。大森幼稚園については、4・5歳児で140人という定員で、瀬戸幼稚園については、4・5歳児で210人という定員になります。なお、大森幼稚園及び瀬戸幼稚園では、定員割れしていますが、入園申込み児童数に応じて職員配置をしている状況です。

【小谷委員】 公立幼稚園だけでなく、私立幼稚園も定員を満たしていないところもありますが、これは大丈夫でしょうか。

【事務局】 現状では、認可されている定員が計2,240人ということになりますが、定員に達していない幼稚園については、園のお考えもあるようです。

【古賀一人委員】 幼稚園としては、定員をオーバーするといろいろ監査などで厳しく指導される面もあります。特に3歳児の定員に対するチェックは厳しいものがあります。また、印西市の場合は、引っ越し等での異動が比較的多いので、余裕をもった定員にしているというところもあると思います。

【小谷委員】 預かり保育の利用について、現状はどのようなものでしょうか。

【古賀一人委員】 働くお母さんが多くなっていますので、ニーズは高いです。幼稚園では、週2～4日、パートで働く、または、働きたいというお母さんが多いので、そういったニーズに対応して、預かり保育をやっています。なお、西の原幼稚園では、長期休みについても預かり保育をやる予定です。

【古賀知世委員】 私は、上の子どもは2人とも大森幼稚園に、下の子は「早く幼稚園に行きたい」という希望だったので、3歳からもとの幼稚園に通わせています。大森幼稚園や瀬戸幼稚園では3年保育は実施されるのでしょうか。実施すれば、児童数は増えるのではないのでしょうか。

【事務局】 今、委員から話があったように、同じ公立幼稚園でありながら内容には違いがあります。今後、3園の内容を合わせていく予定です。

【服部委員】 教育・保育の量の見込みで、2歳児のカベ、2歳児は保育園に入りにくいという話を聞いたことがあります。この問題はどうかでしょうか。

【事務局】 印西市では、待機児童は0～2歳児に集中しています。2歳児のカベという言葉はあまり耳にしません。1歳児を多く受け入れると、そのお子様はそのまま2歳児クラスに上がりますので、新規

で2歳児を受け入れる枠が少なくなってしまうということはあると思います。また、0歳児は4月当初はほとんどの児童が入園できるのですが、年度途中から入所保留が増えてきます。1歳児や2歳児は持ち上がりになりますので、0歳児とはまた違った傾向があります。

【岩井委員】私立保育園でも、待機児童をなくそうということで、定員をオーバーしながらも、できる限り受け入れています。今後は、市内に新しい保育園もできますし、これからも保育園として受け入れ体制を整えていきたいと思っています。

【事務局】ニュータウン地域に住民が増えていることから、私立保育園の新設を複数予定しています。まずは、待機児童をなくすために整備を進めていきたいと考えています。

【小谷委員】この計画からは少し離れるかもしれませんが、印西市には高校が少ないですね。高校の誘致などはお考えですか。高校入学を機に住民が市外に流出してしまうのではないのでしょうか。

【事務局】市内には、高校は1校しかありません。高校の誘致などは、市の全体的なまちづくりの考えの中で検討されるものだと思いますので、ご意見として承ります。

【小島委員】P27「小学校教諭が教育・保育施設に研修に行くなど」が削除となっていますが、これは、連携については、研修だけでなく他の方法もいろいろあるということで、広い意味でとらえるということでこの部分が削除になっていると考えてよろしいでしょうか。

【事務局】お見込みのとおりです。

【服部委員】P3 アンケート結果ですが、一般市民アンケートの回収率が39.9%というのは、市民意識としてはどうなのでしょう。

【事務局】市で実施している他のアンケートの回収率から比較しても、約4割というのは低くない数値だと考えています。就学前や就学児のアンケートは、この内容に関わりの深い方が対象となっていますので、回収率が高くなっているものと考えます。

【古賀一人委員】P22の「一時預かり事業」の中で、幼稚園は「預かり保育」、「一時預かり」はこれまで主に保育園でやってきたと思います。「一時預かり」は、これまで通り保育園で実施していくと考えていいのでしょうか。他市の幼稚園では、保育園のように在園児以外を対象とした「一時預かり」を実施しているところもあります。印西市ではどのように考えていますか。

【事務局】今のところ、一時預かりについては保育園で実施することを想定しています。ただし、現状では、保育園も通常の保育が手一杯で、一時預かりの受け入れが十分にできておりません。今後、幼稚園でも受け入れの話があれば、市としても話を伺っていききたいと思います。

【服部委員】P27にある「保育教諭」とは何ですか。

【事務局】幼稚園教諭と保育士の両方の資格を併せ持つ職員で、認定こども園の職員が該当します。

【小谷委員】認定こども園になる園が少ないのはどうしてでしょうか。職員の資格の問題ですか。それとも設備の問題でしょうか。

【事務局】運営費の問題や、運営面での課題があるかと思います。

【古賀一人委員】施設型給付にすると、収入に関する難しさが出てきます。例えば、上乗せ徴収をすると、保護者に説明をしなければなりません。これまでフレキシブルにできたことが、難しくなるということもあります。

【小谷委員】行政としてはどのようにお考えでしょうか。

【事務局】国としては認定こども園を推進していますが、幼稚園及び保育園に対する需要と供給のバランスを図りながら進めていく必要があると考えています。

【小谷委員】私立園はなかなか難しい面がありそうですが、公立園が始めれば私立園も移行しやすいのではないのでしょうか。

【事務局】需要が見込まれるニュータウン区域に公立幼稚園はありません。今後、大森幼稚園、大森保育園、木下保育園の3園を統合して、1つの認定こども園になる予定はあります。瀬戸幼稚園については、

立地の問題もあり、保育園機能を持たせるメリットはそれほど多くないと考えています。もとの幼稚園は、現在、定員いっぱいという状況であり、立地の問題もあることから、保育園機能を持たせることは考えておりません。いずれにしても、公立幼稚園は、今後整理していくことが必要だと考えていますが、まずは待機児童対策が優先課題だと考えています。

【小谷委員】幼稚園の教育が受けたいということもありますので、待機児童対策だけでなく、教育・保育内容についても考えてみてはと思います。

【前田委員】最近の待機児童については。

【事務局】10月1日現在では、91人の待機児童数となっています。昨年の同時期では、約180名の待機児童数でしたので、今年は半分くらいとなっています。現在は、0歳児の申し込みが増えている状況です。

【前田委員】P9にある表の0歳児の定員がいっぱいになっているということですね。

【事務局】おおむねそのような状況です。0歳児の定員がいっぱいでない園でも、その分の人手が1歳児の保育に回っているというのが現状です。

○協議結果

素案について一同了承。

(2) そ の 他

○事務局より説明

- ・追加資料1に基づき、今後のスケジュールについて説明。

4 その他

○事務局より連絡事項等

- ・委員報酬について説明。
- ・次回子ども・子育て会議の日程をこの場で決定したいとの意見があり、出席委員の意向をうかがったうえ、1月20日（火）午後1時半からに決定した。

○新委員紹介

- ・前任者の異動により新委員となった賀川委員を紹介。

5 閉 会

平成26年度第3回子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

平成27年 / 月20日

子ども・子育て会議委員 前田陽子

子ども・子育て会議委員 服部光子